

運転マナー編

今日は、運転マナーについてお伝えしていきます。運送業界では、プロドライバーとして安全運転はもちろんですが、一般的なドライバーから見て「模範となる」とが求められておりまます。安全運転ができて当たり

前、マナーの良い運転ができて当たり前——という見方、つまり期待をされているのです。

既に期待値が高いわけですから、その期待値を超えて初めて、マナーの良いドライバーとなります。一方で、その期待値より低い場合は、必然的にマナーの悪いドライバーという見方になってしまいます。

そこでは、日頃からどのようなことを心掛けておけばよいのでしょうか。まずは、プロドライバーとしての心構えが重要です。プロとしての自覚と責任を持ち、日頃から意識していきましょう。

プロスピーチ選手であれば、自らの体調管理やトレーニングも重要な仕事であるように、プロドライバーにおいても体調管理は重要な仕事の一つです。ストレスがたまってたり、プライベートで悩みを抱えていたりと、精神が不安定な状態では運転にも影響が出てしまうことでしょう。

トヨタでは、心構えや意識についてお話ししてきましたが、技術的なことや実際の対応方法については、各企業で様々な指導・手法があることだと思います。大手企業では、体系的に研修カリキュラムが組まれ、マニュアルも整備されていると思います。一方、中小企業においては、業界団体で研修セミナーなど各種資料が発行されているた

め、このような資料を基にES(顧客満足度)向上材採用・確保のためだけでも、安全運転、運転マナーにおいて重要なポイントと

目指せ！かつこいいドライバー —コンシェルジュドライバーへの道④

ロジコンシェル社長 近藤 正幸



どれだけ思いやれるか ES向上、重要な取り組み

みになります。

◎ ◎ ◎

測の事態における一瞬の表情の変化を見逃さずに指導して欲しいと思います。

トヨタでは、心構えや意識についてお話ししてきましたが、技術的なことや実際の対応方法については、各企業で様々な指導・手法があることだと思います。大手企業では、体系的に研修カリキュラムが組まれ、マニュアルも整備されている

いものです。一方、中小企業においては、業界団体で研修セミナーなど各種資料が発行されているた

め、このよだな資料を基にES(顧客満足度)向上材採用・確保のためだけでも、安全運転、運転マナーにおいて重要なポイントと

くことで、ドライバーの運転マナー向上につながつていくことだと思います。そして何より、上司や先輩、運行管理者など指導する側の真剣な取り組みと、聞く側の真剣な姿勢が重要です。また、同乗指導においては、前の車が急停止した際や、合流付近でスマートに入れない時など、表情が変わらず、どれだけ平常心でいられるか、つまり不

いふうに合ったストレス発散やプライバートの充実も、安全運転、運転マナー向上に力を入れている企業も増えてきましたが、運送業界においてES(顧客満足度)向上材採用・確保のためだけでも、安全運転、運転マナーにおいて重要な取り組みと直結する重要な取り組みです。また、同乗指導においては、前の車が急停止した際や、合流付近でスマートに入れない時など、表情が変わらず、どれだけ平常心でいられるか、つまり不

いふうに合ったストレス発散やプライバートの充実も、安全運転、運転マナー向上に力を入れている企業も増えてきましたが、運送業界においてES(顧客満足度)向上材採用・確保のためだけでも、安全運転、運転マナーにおいて重要な取り組みと直結する重要な取り組みです。また、同乗指導においては、前の車が急停止した際や、合流付近でスマートに入れない時など、表情が変わらず、どれだけ平常心でいられるか、つまり不